

数

学

高3生クラス

近年の大学入試において、一部では大学レベルの知識があれば有利になることや、ひらめきやセンスの有無で合否が分かれる場合もあります。しかし、難関大も含めたほとんどの大学では高校課程での学習を十分理解し、問題に適用し、如何に解けるかにつきます。言い換えれば、それだけで十分合格点に届くわけです。ワークショップでは、「成績が上がり志望校に合格する」ということにこだわり、大学入学後にも無理なく応用できる数学指導をしていきます。

【前期・夏期】

- ・「定義」「定理」「公式」等を今一度確認し、問題に対する解法を学びます。基礎的な部分の欠落や誤解している場合も少なくありませんから副教材として「入試数学基本演習(通称・緑本)」を併用していきます。
- ・理系クラスでは数学Ⅲからの出題が高い比率で占めています。そのため複雑な数式を大量に処理する場面が多く高度な計算力が要求されます。計算の正確性と速さの双方を訓練するための計算プリントなどをクラス単位で課していきます。

【後期・冬期】

後期中盤までで一通りの単元について入試問題を通じて習得します。理論上は、「すべての問題が解ける」となりますが、そううまくはいきません。そこで後期中盤以降では、答案の書き方や時間配分、解答の手順に重点を置き、実戦形式の演習を行っていきます。実際の入試を想定し、1点でも多く取れるようになることを目指します。

	ハイレベル数学ⅠAⅡB	ハイレベル数学Ⅲ	スタンダード数学ⅠAⅡB	スタンダード数学Ⅲ	基礎数学ⅠA	基礎数学ⅡB
アプローチ講座	センター数学	極限計算と微分計算の基本	センター数学	微分法の計算		
春期講習	数と式、2次関数[Ⅰ]	積分計算の基本	数と式、2次関数[Ⅰ]	数列・関数の極限、微分法の計算		
前期						
①	三角比と図形①[Ⅰ&A]	数列と関数の極限1	三角比と図形①[Ⅰ&A]	微分法の実用1	数Ⅰ 数と式	数Ⅱ 式と証明
②	三角比と図形②[Ⅰ&A]	数列と関数の極限2	三角比と図形②[Ⅰ&A]	微分法の実用2	数Ⅰ 数と式	数Ⅱ 式と証明
③	三角比と図形③[Ⅰ&A]	数列と関数の極限3	三角比と図形③[Ⅰ&A]	微分法の実用3	数Ⅰ 数と式	数Ⅱ 式と証明
④	式と証明、複素数と高次式①[Ⅱ]	微分法の実用1	式と証明、複素数と高次式①[Ⅱ]	式と曲線1	数Ⅰ 数と式	数Ⅱ 複素数と方程式
⑤	式と証明、複素数と高次式②[Ⅱ]	微分法の実用2	式と証明、複素数と高次式②[Ⅱ]	式と曲線2	数A 場合の数と確率	数Ⅱ 複素数と方程式
⑥	式と証明、複素数と高次式③[Ⅱ]	微分法の実用3	式と証明、複素数と高次式③[Ⅱ]	式と曲線3	数A 場合の数と確率	数Ⅱ 複素数と方程式
⑦	図形と方程式①[Ⅱ]	式と曲線1	図形と方程式①[Ⅱ]	積分法の計算1	数A 場合の数と確率	数B ベクトル
⑧	図形と方程式②[Ⅱ]	式と曲線2	図形と方程式②[Ⅱ]	積分法の計算2	数A 場合の数と確率	数B ベクトル
⑨	図形と方程式③[Ⅱ]	式と曲線3	図形と方程式③[Ⅱ]	積分法の計算3	数Ⅰ 2次関数	数B ベクトル
⑩	三角関数①[Ⅱ]	積分法の実用1	三角関数と方程式&不等式①[Ⅱ]	積分法の実用1	数Ⅰ 2次関数	数Ⅱ 指数対数関数
⑪	三角関数②[Ⅱ]	積分法の実用2	三角関数と方程式&不等式②[Ⅱ]	積分法の実用2	数Ⅰ 2次関数	数Ⅱ 指数対数関数
⑫	三角関数③[Ⅱ]	積分法の実用3	三角関数と方程式&不等式③[Ⅱ]	積分法の実用3	数Ⅰ 2次関数	数Ⅱ 指数対数関数
夏期講習	ベクトル[B]／場合の数・確率[A]	複素数と複素数平面	ベクトル[B]／場合の数・確率[A]	複素数平面	前期単元のセンター実践演習	前期単元のセンター実践演習
後期						
①	指数・対数関数①[Ⅱ]	テーマ別演習	指数&対数関数①[Ⅱ]	微積分演習1	数Ⅰ 図形と計量	数Ⅱ 図形と方程式
②	指数・対数関数②[Ⅱ]	テーマ別演習	指数&対数関数②[Ⅱ]	微積分演習2	数Ⅰ 図形と計量	数Ⅱ 図形と方程式
③	数列①[B]	テーマ別演習	いろいろな数列①[B]	微積分演習3	数Ⅰ 図形と計量	数Ⅱ 図形と方程式
④	数列②[B]	テーマ別演習	いろいろな数列②[B]	微積分演習4	数Ⅰ 図形と計量	数B 数列
⑤	数列③[B]	テーマ別演習	いろいろな数列③[B]	微積分演習5	数A 図形の性質	数B 数列
⑥	整数の性質①[A]	テーマ別演習	整数の性質①[A]	微積分演習6	数A 図形の性質	数B 数列
⑦	整数の性質②[A]	テーマ別演習	整数の性質②[A]	入試問題演習1	数A 図形の性質	数Ⅱ 三角関数
⑧	整数の性質③[A]	テーマ別演習	整数の性質③[A]	入試問題演習2	数A 図形の性質	数Ⅱ 三角関数
⑨	整関数の微分積分①[Ⅱ]	テーマ別演習	整関数の微分積分①[Ⅱ]	入試問題演習3	数A 整数の性質	数Ⅱ 三角関数
⑩	整関数の微分積分②[Ⅱ]	入試問題演習と発想練習	整関数の微分積分②[Ⅱ]	入試問題演習4	数A 整数の性質	数Ⅱ 微分積分
⑪	整関数の微分積分③[Ⅱ]	入試問題演習と発想練習	整関数の微分積分③[Ⅱ]	入試問題演習5	数A 整数の性質	数Ⅱ 微分積分
⑫	整関数の微分積分④[Ⅱ]	入試問題演習と発想練習	整関数の微分積分④[Ⅱ]	入試問題演習6	数A 整数の性質	数Ⅱ 微分積分
冬期講習	入試予想問題演習	入試予想問題演習	入試予想問題演習	入試予想問題演習	後期単元のセンター実践演習	後期単元のセンター実践演習

注意:カリキュラムは目安であり、予告無く変更される場合があります

ハイレベル数学ⅠAⅡB(選抜)【45分×3】(高3生)

鈴木 真人 先生

- 第1志望が難関国公立大および早大、慶大、上智大、東京理科大など理系文系問わず数学が必要な受験生を対象とします。
- 「公式の当てはめ」や「問題・解答の暗記」をしても難関大学の入試では歯が立ちません。前期は、入試問題を解く上で「何故そうなるのか」を考え、発想や着眼点を学びます。後期は、入試本番を想定した実戦演習により持てる力を最大限発揮できるよう鍛え上げます。

担当の鈴木先生よりメッセージ

こんな人におすすめ！

- ◎難関大の問題を一人で解けるようになりたい人
- ◎数学で点数を稼ぎたい人

ハイレベル数学Ⅲ(選抜)【45分×2】(高3生)

下田 雄太 先生

- 第1志望が難関国公立大および早大、慶大、上智大、東京理科大などの理系で数学Ⅲが必要な受験生を対象とします。
- 難関大の理系入試では、広角的な視野と思考力が要求されます。前期は、様々な入試問題を題材に計算力・思考力・表現力を養います。後期は、前期で学んだことを踏まえ、より実戦的な良問で仕上げていきます。

担当の下田先生よりメッセージ

こんな人におすすめ！

- ◎難関大の問題を一人で解けるようになりたい人
- ◎数学で点数を稼ぎたい人

※ハイレベル講座を受講希望の方は、選抜テストを受験していただきます。

※その結果によって、受講レベルが決定いたします。

スタンダード数学ⅠAⅡB【45分×3】（高3生）

下田 雄太 先生

- 第1志望が国公立大および明治大、中央大、法政大、立教大、青山学院大、学習院大、私立大薬・農・歯・獣医学部など理系文系問わず数学が必要な受験生を対象とします。
- 入試問題を解く上で必要不可欠な基本事項や解法、考え方について数学ⅠAⅡB全範囲を順に攻略していきます。また後期は入試本番を想定した実戦演習が中心となります。詳しくは別紙のカリキュラムを参照してください。

※数学ⅠAのみが必要な生徒はスタッフまでご相談ください。

担当の下田先生よりメッセージ

こんな人におすすめ！

- ◎数学を使う（センターのみの人も含む）けれども、数学が苦手でどうにかしなければならぬ人
- ◎難関大を目指しているけれど、基礎が固まっているか心配な人

スタンダード数学Ⅲ【45分×2】（高3生）

鈴木 真人 先生

- 第1志望が国公立大および明治大、中央大、法政大、立教大、青山学院大、学習院大などの理系で数学Ⅲが必要な受験生を対象とします。
- 数学Ⅲでまず必要なのは確実な計算力です。前期は計算を中心に入試問題に取り組みます。また数学Ⅲは理系入試で高い出題率を占めますので、後期はそれを踏まえ、より実戦的な演習を行います。

担当の鈴木先生よりメッセージ

こんな人におすすめ！

- ◎数学を使う（センターのみの人も含む）けれども、数学が苦手でどうにかしなければならぬ人
- ◎難関大を目指しているけれど、基礎が固まっているか心配な人

基礎数学ⅠA【45分×2】（高3・2・1生）

下田 雄太 先生

- 学校の教科書に載っていることを、0から扱っていく講座です。各單元ごとに基礎の理解を作り上げ、そこから基本問題に対し、やっていることを納得して解けるようにしていく講義を展開します。
- ⅠAはその後の数学すべての根幹になり確実に理解納得を積み上げておかないと先の単元で詰みかねません。解ける問題に対してもどうして解けるのか徹底していくことが重要です。ⅡBからは理論の理解が大変になってきます。だからこそしっかりとやっていることの納得を丁寧に進めていくことが実力をつけるための近道です。

基礎数学ⅡB【45分×2】（高3・2・1生）

下田 雄太 先生

- 学校の教科書に載っていることを、0から扱っていく講座です。各單元ごとに基礎の理解を作り上げ、そこから基本問題に対し、やっていることを納得して解けるようにしていく講義を展開します。
- ⅡBからは理論の理解が大変になってきます。解ける問題に対してもどうして解けるのか徹底していくことが重要です。だからこそしっかりとやっていることの納得を丁寧に進めていくことが実力をつけるための近道です。